

news

シクロケム

DHAの酸化安定性を6倍に向上
臭いの低減効果も

シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は、酸化しやすいDHAについて、天然のR体 α リポ酸やトコトリエンールを添加し、さらに γ -シクロデキストリン(γ -CD)を用いて包接することで、通常の酸化剤のみを添加した場合と比較し、酸化安定性を約6倍に向上させることに成功した。

この内容はシクロデキストリン学会で論文発表された。これまでDHAの酸化不安定性を改善するために α リポ酸を添加するケースが見られている。同社では①DHA+抗酸化剤(R体 α リポ酸やトコトリエンール、アスタキサンチンの3種)、②DHA+ γ -CD包接体、③DHA+抗酸化剤+ γ -CD包接、の3パターンで、空気酸化に対する安定性をフシマツト法で検討した。

その結果、①DHAに抗酸化剤のみを添加した場合、よりも、②DHA+ γ -CD包接体、のほうが酸化不安定性を顕著に向上させることが確認された。さらに、③の場合は、

酸化不安定性の向上は最大となった。同試験では、こうした結果に加え、DHAが持つ特有のにおいも γ -CD包接と抗酸化物質の組合せで改善できることも明らかになった。

だ。1000件を超える応募総数の中からポスター賞の最高賞を受賞した。糖尿病治療薬などの医薬品としても用いられる α リポ酸は、比較的安定とされる非天然の光学異性体(S体)を含むラセミ体として流通している。

同社の研究で、S体を取り除き、天然のR体のみを γ -シクロデキストリンで包接することで、安定かつ生体吸収特性を改善することに成功している。



受賞した生田直子氏